

プログラムのセルフテスト - 説明のためのこの最初の選択はSite #1を選択しています。

PG4UW v3.27f/11.2016 - universal control program for Eltec programmers.

ファイル バッファ デバイス プログラマー(Y) オプション(Z) ヘルプ

ロード 保存 ロードprj セーブprj 表示/編集 選択/デフォルト 選択 ブランク 読み込み ベリファイ プログラム 消去

プログラマー・アクティビティログ

```

L0071:
L0072: <----- オプションリスト終了 ----- (プログラム・スタートアップ)
L0073:
L0074: デバイス選択Renesas uPD78F0138H [LQFP64 14x14].
L0075: バッファのチェックサムの範囲 [0h.EFFFh]: 00EF1000h - Byte sum (x8), Straight
L0076:
L0077: >> 09.11.2016, 16:54:14
L0078: Buffer checksum type is set to "Byte sum (x8), Straight"
L0079: Buffer block(s) excluded from checksum calculation: 無効にする
L0080:
L0081: >> Log file created at 09.11.2016 16:54:14
L0082: Log file name: C:\Users\%Owner%\AppData\Roaming\Eltec\PG4uw\reportrep
L0083: Log file mode: Append
    
```

統計

サクセス	0
操作の失敗:	0
その他の失敗:	0
合計	0

統計リセット

カウントダウン 無効にする
残り "0" の "0"
カウントダウンの再ロード

アドレス (hex)

原点	サイズ	開始	終了	
デバイス	x8	F000	0	FFFF
バッファ	x8	F000	0	FFFF
ファイル	x8	-	-	-

チェックサム: 00EF1000h x8-S [0h.EFFFh]
シリアライゼーション: None
分割: なし

プログラマー

タイプ: BeeHive204, Site #1
S/N: 1177-00072, 1180-00533

ZIF mode

ステータス用意出来ています
ポート: USB
YES: 手動

デバイス

タイプ: Renesas uPD78F0138H [LQFP64 14x14]
アダプター-DIL40/QFP64-3 ZIF NEC-1
ノート: [ご覧下さい-> デバイス情報 <Ctrl+F1>](#)
メニューで使用するデバイスのカスタマイズ [セキュリティのセット <Alt+S>](#)

ファイル名:

PG4UW v3.27f/11.2016 - universal control program for Eltec programmers.

ファイル バッファ デバイス プログラマー(Y) オプション(Z) ヘルプ

ロード 保存 ロードprj セーブprj 表示/編集 選択/デフォルト 選択 ブランク 読み込み ベリファイ プログラム 消去

プログラマー (Y)

- プログラムを選択して下さい... Ctrl+F
- プログラムを再検索(T) Shift+Ctrl+F
- プログラマー・ネットワーク・アダプター・コfiguration(U)
- ハンドラー(V)...
- クレジット・ボックス情報(W)...
- モジュール・オプション(X)...
- オートマチックYES(Y)...
- セルフテスト...**
- Selftest of ISP connector...
- キャリブレーション・テスト(Z)... Shift+Ctrl+Alt+C

プログラマー・アクティビティログ

```

L0060:
L0061: <----- オプションリスト終了 ----- (プログラム・スタートアップ)
L0062:
L0063: デバイス選択Renesas uPD78F0138H [LQFP64 14x14].
L0064: バッファのチェックサムの範囲 [0h.EFFFh]: 00EF1000h - Byte sum (x8), Straight
L0065:
L0066: >> 09.11.2016, 16:58:54
L0067: Buffer checksum type is set to "Byte sum (x8), Straight"
L0068: Buffer block(s) excluded from checksum calculation: 無効にする
L0069:
L0070: >> Log file created at 09.11.2016 16:58:54
L0071: Log file name: C:\Users\%Owner%\AppData\Roaming\Eltec\PG4uw\reportrep
L0072: Log file mode: Append
    
```

統計

サクセス	0
操作の失敗:	0
その他の失敗:	0
合計	0

統計リセット

カウントダウン 無効にする
残り "0" の "0"
カウントダウンの再ロード

アドレス (hex)

原点	サイズ	開始	終了	
デバイス	x8	F000	0	FFFF
バッファ	x8	F000	0	FFFF
ファイル	x8	-	-	-

チェックサム: 00EF1000h x8-S [0h.EFFFh]
シリアライゼーション: None
分割: なし

プログラマー

タイプ: BeeHive204, Site #1
S/N: 1177-00072, 1180-00533

ZIF mode

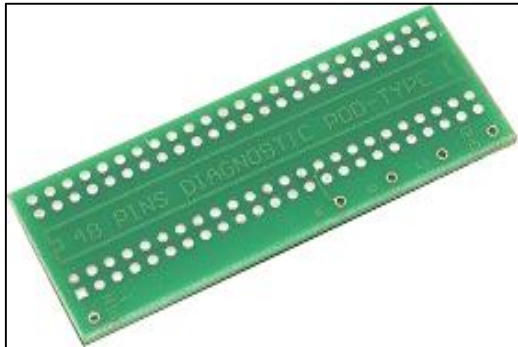
ステータス用意出来ています
ポート: USB
YES: 手動

デバイス

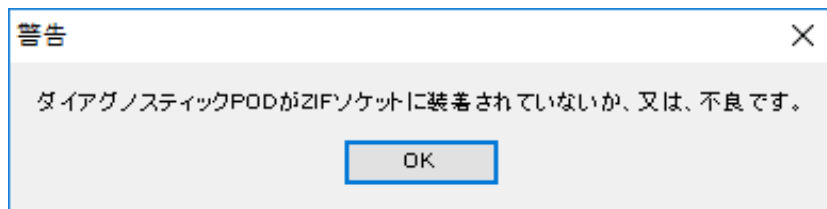
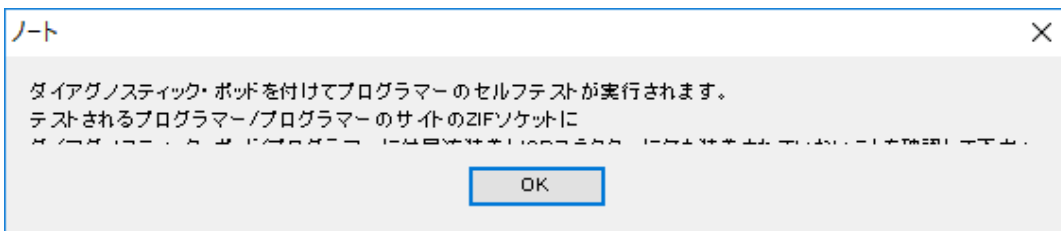
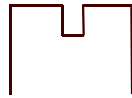
タイプ: Renesas uPD78F0138H [LQFP64 14x14]
アダプター-DIL40/QFP64-3 ZIF NEC-1
ノート: [ご覧下さい-> デバイス情報 <Ctrl+F1>](#)
メニューで使用するデバイスのカスタマイズ [セキュリティのセット <Alt+S>](#)

ファイル名:
プログラマーのセルフテストを実行

付属の48pins DIAGNOSTIC POD-TYPE 1をSite #1に付けて下さい。

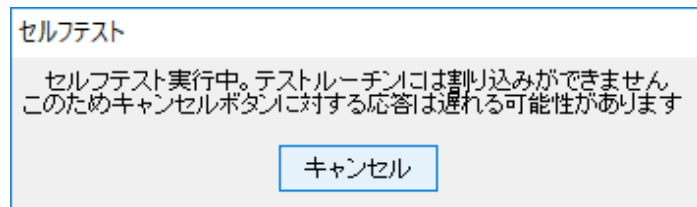


PODの方向を確認して装着して下さい。
切り込みのある方が上になります。

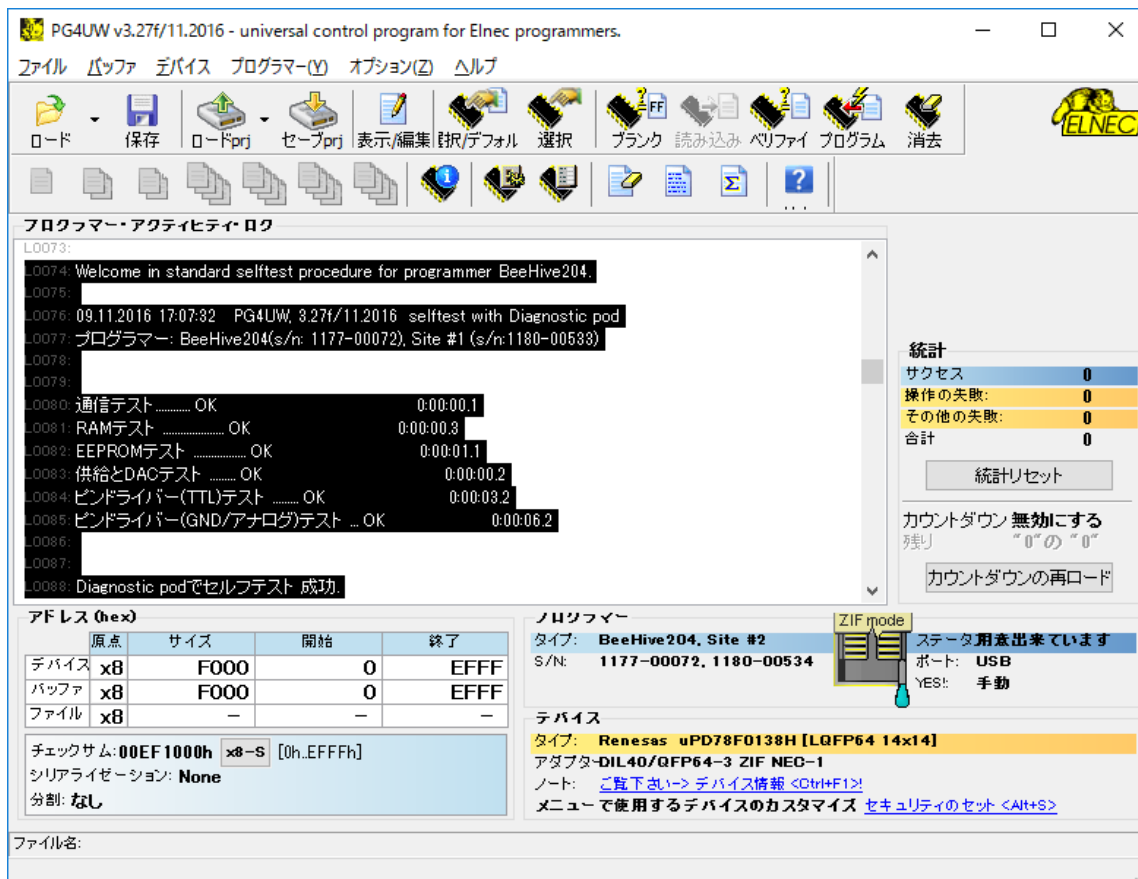


上記のダイアログが出る場合もありますが、OKをクリックして進めて下さい。

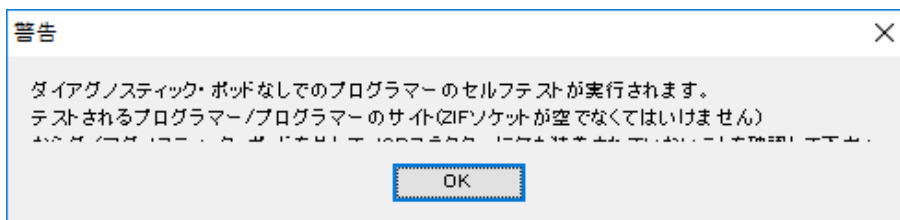
下記のダイアログが表示されテストが実行されます。



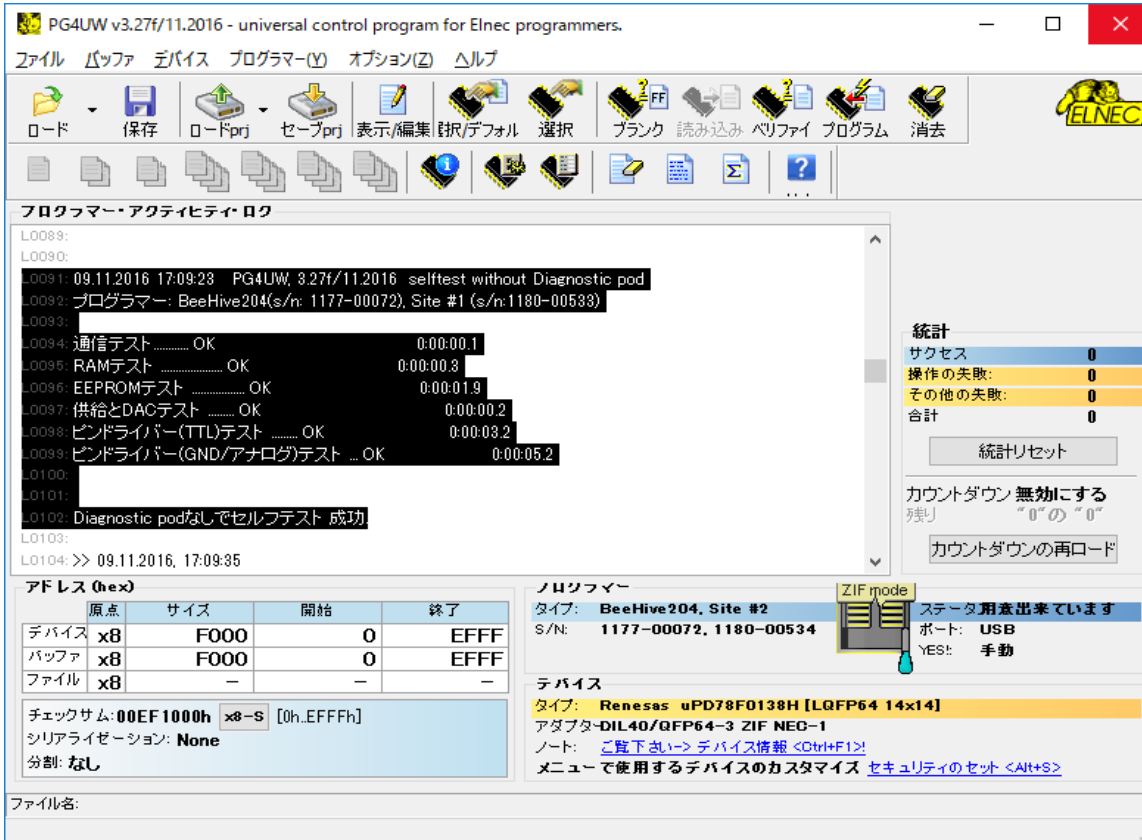
テスト終了後は次ページの様に結果がスクリーンに表示されます。



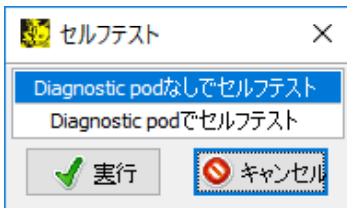
次にダイアログの指示どおりに48pins DIAGNOSTIC PODを取り除いてZIFソケットに何も載せないでOKをクリックして実行して下さい。



次ページの様に結果がスクリーンに表示されます。



下記の様なダイアログが表示されますが繰り返し数度行うかは任意です。



次の要領でサイトを切り替えてSite #2, Site #3, Site #4で行って下さい。

PG4UW v3.27f/11.2016 - universal control program for Elneec programmers.

ファイル バッファ デバイス プログラマー(Y) オプション(Z) ヘルプ

ロード 保存

プログラマー・アクティビティ

L0175: 09.11.2016 17:14:14
 L0176: プログラマー: BeeH
 L0177: ループNo: 1 経過
 L0178:
 L0179: 通信テスト..... OK
 L0180: RAMテスト.....
 L0181: EEPROMテスト.....
 L0182: 供給とDACテスト.....
 L0183: ピンドライバー(TTL)テスト OK 0:00:03.2
 L0184: ピンドライバー(GND/アナログ)テスト ... OK 0:00:06.1
 L0185:
 L0186:
 L0187: Diagnostic podでセルフテスト 成功.

プログラマーメニュー:

- プログラマーを選択して下さい... (Ctrl+F)
- プログラマーを再検索(T) (Shift+Ctrl+F)
- プログラマー・ネットワーク・アダプター・コフィギュレーション(U)
- ハンドラー(V)...
- クレジット・ボックス情報(W)...
- モジュール・オプション(X)...
- オートマチックYES!(Y)...
- セルフテスト...
- Selftest of ISP connector...
- キャリブレーション・テスト(Z)...

統計

サクセス	0
操作の失敗:	0
その他の失敗:	0
合計	0

統計リセット

カウントダウン 無効にする
残り "0"の"0"

カウントダウンの再ロード

アドレス (hex)

原点	サイズ	開始	終了
デバイス x8	F000	0	FFFF
バッファ x8	F000	0	FFFF
ファイル x8	-	-	-

チェックサム: 00EF1000h x8-S [0h..FFFFh]
 シリアライゼーション: None
 分割: なし

プログラマー

タイプ: BeeHive 204, Site #1
 S/N: 1177-00072, 1180-00533

ZIF mode

ステータス表示: 出ています
 ポート: USB
 YES: 手動

デバイス

タイプ: Renesas uPD78F0138H [LQFP64 14x14]
 アダプター: DIL40/QFP64-3 ZIF NEC-1
 ノート: [ご覧下さい>> デバイス情報 <Ctrl+F1>](#)
 メニューで使用するデバイスのカスタマイズ [セキュリティのセット <Alt+S>](#)

ファイル名:
 プログラマーを選んで下さい。通信パラメータを設定しプログラマーとの通信を設定します

プログラマー検知

プログラマー

BeeHive 208S, Site
 BeeHive 204, Site
 BeeHive 204AP, Site
 BeeHive 204AP-ALI, Site

BeeProg2
 BeeProg2C
 SmartProg2
 BeeProg2AP

MEMprog2

BeeHive 8S, Site
 BeeHive 4+, Site
 BeeHive 4, Site
 BeeProg+
 BeeProg
 JetProg
 MEMprog
 T51prog2
 MEMprogL
 PIKprog2
 SEEprog

全てを検索

プログラマーは既にサポートされていません:

PREEPROM-02
 LabProg-48LV
 51AVRprog
 PIKprog

さらにご覧下さい www.elnec.com

PG4UWのこのバージョンでは BeeProg3/BeeHive304 プログラマーはサポートされていません。以下のリンクの適切なPG4UWをチェックして下さい:
www.elnec.com/download

ポート

LAN
 USB
 専用のLPT
 すべてのポート

通信の確立

オートマチック
 手動

速度: 100%

デモ 接続 キャンセル

サイトの選択

BeeHive 204, Site #1
 BeeHive 204, Site #2
 BeeHive 204, Site #3
 BeeHive 204, Site #4

OK キャンセル